

第一回

# 花の会

令和三年八月二十七日(金)

十八時三〇分開演(十八時開場)

千代田区立内幸町ホール

入場料 四〇〇〇円(指定席)

素浄瑠璃

心中天網島「大和屋の段」

人間国宝

浄瑠璃 竹本 駒之助

三味線 鶴澤 津賀花



素踊り

花鏡四季寿「海女」

立方 藤間 涼花

浄瑠璃 竹本 綾之助 陰囃子

竹本 寿々女

三味線 鶴澤 津賀花

鶴澤 弥々

藤舎 千穂

望月 実加子

福原 徹秋



申込先・問合先

03-3-806-3294 (鶴澤 津賀花)  
tsugahana0822@gmail.com

03-3-8109-8364 (藤間 涼花)  
suzuka100odori@gmail.com



「花の会」は、女流義太夫三味線方の鶴澤津賀花と、日本舞踊家の藤間涼花の二人による、素浄瑠璃と舞踊の会です。

それぞれの師から芸を受け継ぎ、研鑽を深めていきたいと2020年に発足致しました。

女流義太夫と日本舞踊の魅力をより多くの方にお伝え出来るよう、普及活動も行っております。

演目解説

心中天網島「大和屋の段」

近松門左衛門作。享保五年（1720）十月に大坂網島の大長寺で実際に起きた心中事件を元に脚色され、同年十二月に初演。「北新地河庄の段」「天満屋紙屋内の段」「大和屋の段」「道行名残の橋づくし」で構成されます。

妻子ある男・紙屋治兵衛は、曾根崎新地の遊女・紀伊国屋小春となじみになり、恋の成就を願います。治兵衛は、妻や義父、兄らの苦悩や困惑を目の当たりにしますが、身請け話が持ち上がると、小春への思いは二人を心中へと向かわせるのでした。

花競四季寿「海女」

文化文政時代に歌舞伎の変化舞踊の影響を受け、文楽でも舞踊的要素の濃い作品が上演されるようになりました。本作は四季の情景を描いた四段返しの内の夏の段で、文化六年（1809）二月、大坂御霊境内芝居で初演されました。

波が打ち寄せる夏の海辺、徐々に夜が明け始めます。一人の海女が現れ、日頃の男のつれない態度を恨み、片思いの恋の憂さを踊ります。



女流義太夫 三味線方  
鶴澤 津賀花

武蔵野音楽大学音楽学部音楽学学科卒業。

1998年 女流義太夫人間国宝の竹本駒之助に入門。

2001年 国立演芸場にて初舞台。

2006年 文化庁新進芸術家国内研修員として三味線を六世鶴澤燕三に師事。

2007年 文化庁芸術団体人材育成支援事業研修員。

（一社）義太夫協会新人奨励賞受賞。

2009年 第十回（公財）日本伝統文化振興財団

「邦楽技能者オーディション」合格。

2011年 第二十四回（財）清栄会奨励賞受賞。

2017年 第三十八回松尾芸能賞新人賞受賞。



日本舞踊宗家藤間流  
師範名執  
藤間 涼花

共立女子大学文芸学部劇芸術コース卒業。

1995年 大学内サークルにて日本舞踊を始める。

2001年より三世藤間勘祖師、八世藤間勘十郎師の下での内弟子修行を経て2008年師範名執取得、

2013年独立。「すずの会」主宰。国立劇場歌舞伎俳優養成事業日本舞踊講師。共立女子大学日本舞踊研究会講師。同大学文芸学部劇芸術コース非常勤講師。

2016年10月 新橋演舞場歌舞伎公演『COMO』出演。

2017年6月 シアターコクーン 市川海老蔵自主公演

『ARKAI』出演。

『ARKAI』出演。

『ARKAI』出演。

『ARKAI』出演。

千代田区立内幸町ホール  
東京都千代田区内幸町1-5-1

◆ 都営三田線  
内幸町駅 A5番出口より徒歩5分

◆ 東京メトロ銀座線  
新橋駅 7番出口に向かい  
内幸町地下通路(E方面)より徒歩5分

◆ JR  
新橋駅 (日比谷口)より徒歩5分



主催 花の会

鶴澤 津賀花

藤間 涼花

後援

（公財）日本伝統文化振興財団

（一社）義太夫協会